

19.商工観光に関する施策

■ 施策評価シート 19-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	中心市街地の活性化		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	19-01-①	施策名	中心市街地のにぎわいの創出	

施策の概要
中心市街地エリアの商業の活性化を図るため、官民が参画するエリアマネジメント組織が中心となり、官民が連携したイベント実施や新規出店の促進等により、にぎわいの創出に取り組みます。

成果指標(単位)	買物をする環境が整っていると感じる市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	76.7	77.3	77.9	78.5
実績値	76.1	75.9			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「買い物をする環境が整っていると感じる市民の割合」は、前年度に比べ0.2ポイント下降し、目標値を達成することができなかった。駅前商業施設が立地する地域では評価が高い一方で、郊外地域では相対的に評価が低かった。このことから、徒歩アクセスの利便性が買物をする環境への評価につながっている一方で、郊外地域から中心市街地へのアクセス性などから、郊外地域住民からの実感は薄く、満足度が低くなっていると考えられる。

施策の達成度評価
「くさつまちなかエリアプラットフォーム」を通じ、駅周辺大規模商業施設や商店街等と協力しながら官民連携での集客にむけた取り組みを実施し、まちなかの魅力向上に寄与した。一方で、空き家・空き店舗の活用では出店したい方はいるものの空き店舗の所有者とのマッチングにつながらなかった。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標においては、「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目で偏差値70を上回り、まちなかの商業施設については充足していると評価している。一方で、「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」の項目については偏差値51.4と、公共交通機関でのまちなかへのアクセス性が、まちなかの買い物環境への満足度を押し下げていると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の実績についての考え方
草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームと官民一体の実績を行うことで商業環境の充足を図り、まちなかの魅力向上を推進する。 出店希望者と空き店舗の所有者とのマッチングする仕組みを検討し、店舗の誘導を図る。
「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目を維持できるようまちなかの魅力向上を図る。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(商工費)	都市地域戦略課	△	草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームとともに官民が連携しまちなかの魅力向上に寄与した一方で、魅力店舗誘致事業については空き店舗の所有者とのマッチングにつながらず、誘致にいたらなかったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についての記載しています。

■施策評価シート

19-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1		4.1							
		偏差値	69.9		72.6							
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5		3.6							
		偏差値	60.9		66.4							
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1		3.2							
		偏差値	49.7		51.4							
13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	実数	2.8		3.0							
		偏差値	54.3		58.6							
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7		3.8							
		偏差値	68.0		71.2							
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8		3.8							
		偏差値	65.4		68.3							
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3		3.4							
		偏差値	55.4		60.3							
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3		3.3							
		偏差値	66.6		68.6							
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	57.7		58.4							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考	
客観指標No. (令和7年度)		9	10	11	20	41	77	79	90		

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	商業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-02-①	施策名	地域商業の活性化	

施策の概要

地域の商業を活性化させるために、草津商工会議所をはじめ地域経済団体や関係団体と連携しながら、商業の振興や草津ブランドの育成等を図ります。

成果指標(単位)	買物する環境が整っていると思う市民の割合(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		76.7	77.3	77.9	78.5
実績値	76.1	75.9			

成果指標実績に対するコメント

成果指標の実績値は、依然として高い水準で推移しているが、全国的な経済情勢の変化や物価高騰等により、買物の際の満足感が低下していることが考えられ、その影響により成果指標の目標値を下回ったと考える。

施策の達成度評価

草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体と連携したくさつ華あかりフェスタやみなくさまつりなどの実施および草津ブランド認証品の拡大や草津ブランド認証品を用いた新商品の誕生などにより地域商業の活性化を図った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」「No.8 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体との連携を図り、各種取組を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

草津商工会議所や草津市商店街連盟などの地域に根差した地域経済団体などとの連携を図りながら、消費者の購買行動の機運醸成に繋がる地域イベント等の支援をはじめとして、引き続き、地域商業の活性化を推進する。また、草津ブランド認証品をはじめとした市内の特産品等の啓発や民間事業者や大学等と連携した新商品の開発など、事業者等と連携し、販路開拓および新たな商品開発を行える環境づくりに努める。

草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体との連携を通じた各種取組は、「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」「No.8 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
商工団体等活動費補助事業	商工観光労政課	○	草津商工会議所をはじめとした商工団体や地域商業の活性化を図ることのできる事業への支援を行うことで、市内商業の活性化を図ることができたため。
商店街活性化推進事業	商工観光労政課	○	くさつ華あかりフェスタの開催への支援やくさつ夢本陣の運営を行うことで商店街等の活性化を図ることができたため。
草津ブランド強化事業	商工観光労政課	○	草津ブランド認証品の拡大や事業者と連携した新商品の開発、啓発イベントの開催など、市内産業の活性化と本市のPRを図ることができたため。

■施策評価シート19-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
商工業事務	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1	4.1			
		偏差値	69.9	72.6			
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5	3.6			
		偏差値	60.9	66.4			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		9	10	11	120	122			

■ 施策評価シート 19-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-①	施策名	新産業の創出と中小企業等への支援	

施策の概要
くさつビズサポやインキュベーション施設などの支援機関等の活用や、産学官金の連携のさらなる強化により、新たな産業の創出を促進するとともに、中小企業等への企業訪問等を通じ、ビジネスマッチングなど、ニーズに応じた支援を行います。

成果指標(単位)	くさつビズサポの支援を受けて創業した数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		24	26	28	30
実績値	22	9			

成果指標実績に対するコメント
創業に係る相談支援については、令和6年度と同程度の53者に支援を行ったが、近年の物価高騰や金利上昇等の影響で、創業を延期されるケースが多くあったことから、結果的に目標値を下回る結果となった。しかし、創業準備中の事業者もいることから、くさつビズサポにおいて継続して支援を行い、創業者数の増加を目指す。

施策の達成度評価
くさつビズサポの支援を受けて創業した数は目標値を下回ったものの、創業希望者・事業者等からの相談支援の実績は、昨年度と同程度の実績であったことから、くさつビズサポの相談支援には一定の成果があったものとする。引き続き、創業や創業後の支援や事業者同士の交流機会の創出、市ホームページや草津市事業者支援制度一覧(リーフレット)で本施策について周知に務める。
関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.50 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。新産業の創出と中小企業への支援等を行うことで、新たな産業への促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、創業希望者・事業者等からの相談や支援等や支援機関等の活用を図りながら、企業のニーズに応じた支援・サポートに取り組む。
支援機関等の活用や産学官金の連携への支援に対する取組は、新たな産業の創出だけでなく、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.50 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ビジネスサポート推進事業	商工観光労政課	○	目標値を下回る実績(9人)となったものの、事業者同士の交流機会の創出等、事業者支援の一定の成果はあったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8					
		偏差値	55.6	56.1					
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	54.9	56.5					
50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	実数	2.8	2.9					
		偏差値	54.4	57.1					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	120	121	122	124	125	126	127		

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-②	施策名	企業の立地促進	

施策の概要

本市の企業立地の優位性を生かすため、企業誘致の立地適地の創出に向けた調査を実施し、新たな企業立地を推進します。

成果指標(単位)	企業立地促進助成事業者として指定決定を行った件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	3	3	3	3
実績値	3	1			

成果指標実績に対するコメント

指定決定件数は1件であるものの、市内における企業の立地・集積を促進するため、草津イノベーションコーディネータ(略称:KIC)による企業訪問活動や市ホームページ等を通じて情報発信を行った結果、一定の成果があったものとする。

施策の達成度評価

目標値には至らなかったものの、指定決定を行うことができ、一定の成果があったものとするが、市内の企業立地適地が不足している状況を踏まえ、都市計画マスタープランに基づく産業振興区域において、計画的な土地利用を図ることを目的に、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめたことから、当該取組に基づき、高付加価値を生み出す産業用地集積エリアの形成に向けて事業を進めていく必要がある。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。企業誘致の立地適地の創出に向けた調査を実施することで、新たな企業立地への促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

市内に工業系用途地域の未利用地が少なく、工場や研究所等の新たな立地適地が限られた状況となっていることから、高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けて、農業施策との調整を踏まえつつ、都市計画マスタープランに基づく産業振興区域である御倉町外地先において、令和8年度に実施予定の「産業集積エリア整備計画検討業務」にて、地権者へのアンケート調査を行い、産業用地の創出の可能性を探ったうえで、適正な開発手法にて産業用地開発を進めていく。

企業誘致の立地適地の創出に向けた調査に対する取組は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
企業立地推進事業	商工観光労政課	○	目標値達成には至らなかった(1件)ものの、工場立地等の相談を受けていることから、一定の成果はあったと言えるため。
企業立地推進事業	企業立地推進室	○	計画的な土地利用を図ることを目的に、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
産業振興審議会運営事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		120	122						

■施策評価シート

19-04-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	観光の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-04-①	施策名	地域観光の活性化	

施策の概要

地域の観光を活性化させるために、観光事業者、(一社)草津市観光物産協会、関係団体等と連携しながら、地域の特性を生かした魅力ある観光事業を展開します。

成果指標(単位)	観光入込客数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	2,908,000	2,937,000	2,966,000	2,996,000
実績値	2,879,019	3,040,180			

成果指標実績に対するコメント

国スポ・障スポの開催、観光入込客数が多い草津川跡地公園内でのイベントの充実、市内まつりの来場者数が増加したことが目標値達成の要因であり、今後も引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携し、観光振興へ向けた取組を進める。

施策の達成度評価

(一社)草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会などの関係団体と連携を図りながら、地域の特性を生かした観光事業を実施することで、本市の観光振興を推進することができた。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携し、観光振興へ向けた取組を進めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

着地型観光事業等を通して新たな観光資源の発掘や磨き上げ、SNSやHPでの情報発信を積極的に行い、引き続き観光振興に努める。また、令和9年度の滋賀デスティネーションキャンペーンの開催に向け、草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会との連携を強化し、本市の特性を活かした魅力ある環境づくりと効果的な観光誘客に取り組んでいく。

(一社)草津市観光物産協会をはじめとする関係団体との連携を通じた各種取組は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えことから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
観光物産協会観光振興活動費補助事業	商工観光労政課	○	(一社)草津市観光物産協会への支援を通じて、地域観光資源推進事業や着地型観光事業などを実施し、本市の観光振興を推進したため。
宿場まつり開催費補助事業	商工観光労政課	○	第57回草津宿場まつりでは、6年ぶりに市役所エリアを復活させたほか、新たに和装パレードを実施する等、幅広い世代が楽しめる工夫を行った結果、前年度を上回る70,000人の来場者数があったため。
観光宣伝事業	商工観光労政課	○	草津市を訪れる方々に対し、観光案内を行うことで、本市の魅力発信を行うことが出来たため。

■施策評価シート 19-04-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
烏丸半島維持管理事業	公園緑地課
観光振興事務	商工観光労政課
広域観光事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2					
		偏差値	55.2	57.9					
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3					
		偏差値	66.6	68.6					
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8					
		偏差値	55.6	56.1					
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	54.9	56.5					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									
客観指標No. (令和7年度)			85	120	122				備考

■施策評価シート

19-05-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	勤労者福祉の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	19-05-①	施策名	勤労者への支援	

施策の概要

勤労者福祉の向上を図るため、「草津市勤労者福祉基本方針」に基づき働き方改革に取り組みながら、勤労者の福祉の増進に向けた支援を図ります。

成果指標(単位)	働きやすい労働環境であると感じる市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	34.9	35.7	36.5	37.3
実績値	34.1	32.4			

成果指標実績に対するコメント

補助金を交付している各勤労福祉団体で補助助成事業を数多く展開されたものの、物価高騰に賃金の引き上げが追いついておらず、金銭的な生活負担の増加により、目標値に届かなかったものと考えられる。

施策の達成度評価

草津市勤労者福祉サービスセンターおよび草津・栗東地区労働者福祉協議会が実施する勤労者福祉事業に対する支援を行った結果、各団体において福利厚生事業を展開し、勤労者福祉の向上を図った。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。勤労者福祉団体への支援等を行うことで、勤労者の福祉の増進に向けた支援の促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き勤労者福祉団体への補助金を交付し、勤労者福祉の向上に資する取組を支援する。

勤労者福祉団体への支援に対する取組は、勤労者福祉の向上だけでなく、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
勤労者福祉団体育成事業	商工観光労政課	○	利用者数は増加しており、各種団体の勤労者福祉の向上を図ることができたため。
市民交流プラザ運営事業	商工観光労政課	○	安全安心な施設の運営に努め、市民活動や各種団体の活動支援ができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民交流プラザ施設維持管理事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2							
		偏差値	55.2		57.9							
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8							
		偏差値	55.6		56.1							
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	54.9		56.5							
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考		
客観指標No. (令和7年度)			115	116	117	118	119	120	122			